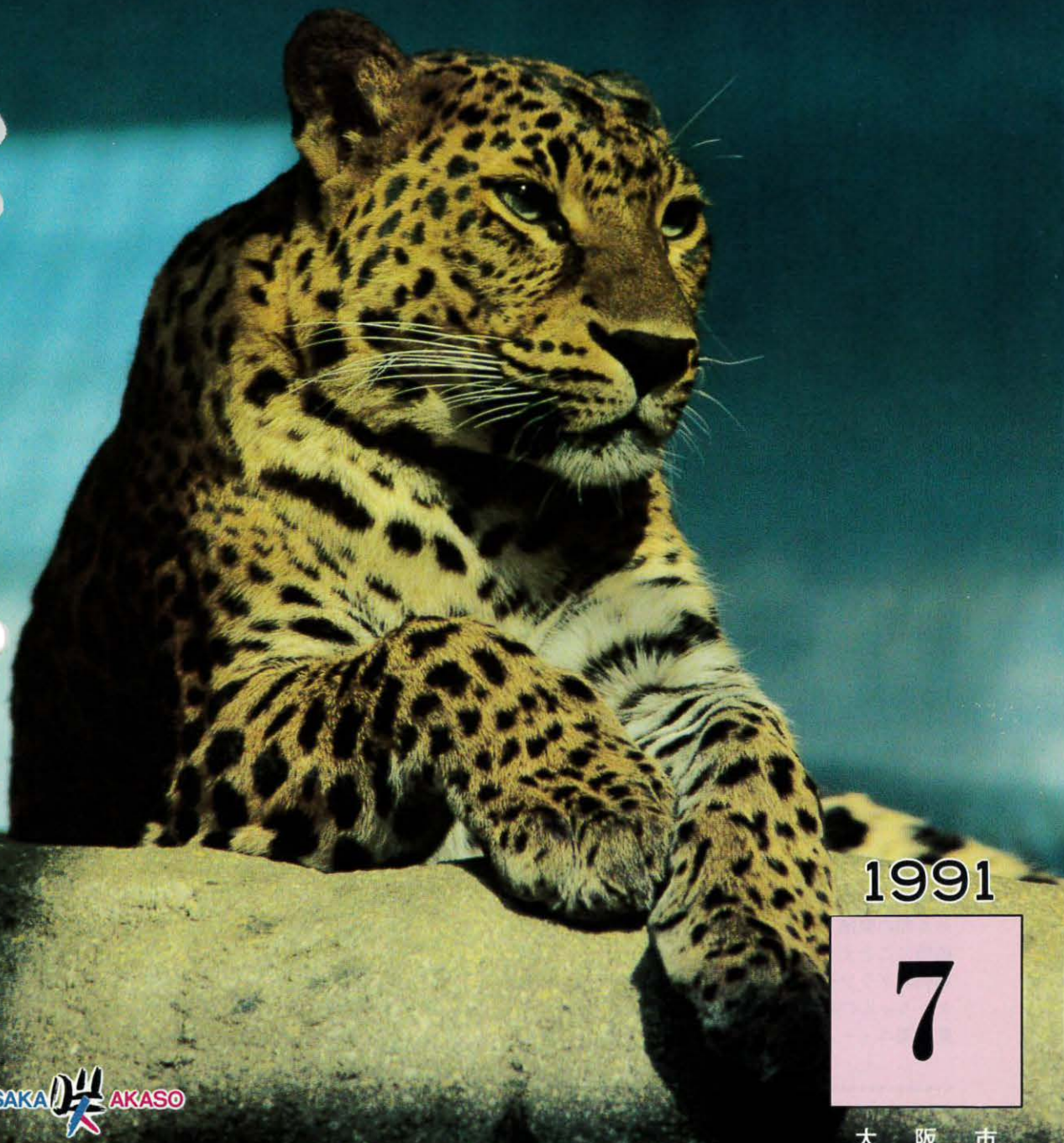




なきごえ



1991

7

OSAKA  AKASO

大阪市
天王寺動物園協会

榊原 茂



小さい頃の私は父に連れられ、植物採集と称してよく野山に出かけ、生物の観察や植物の検索などをしました。中学生になると、私はシートン動物記やファーブル昆虫記を読み耽り、一人前に博物館に通ったり、果ては砂利道や山の崖の中から化石や土器や石器を拾い集めたりするようになりました。

ある夏のことです。私は従兄弟の家の近く（羽田空港の付近）の遠浅の海で遊んでいました。そこは見渡すかぎり数万匹のカニが群らがり、30cmおきにベンケイガニやシオマネキ等の巣穴がある所で、私達は潮の満ちるのも忘れるくらいカニを捕まえることに熱中していました。

ところが一年後の夏に二人で出かけて行くと、以前あれほどカニが群がっていた遠浅の海はいつの間にか埋立られ、沖まで陸地になり昔の面影はありませんでした。その後、海の埋立は広大な陸地になるまで延々と続けられ、今では工場地帯と化しました。この数年あまりの出来事は、時が経つにつれてますます私の心の中で大きな意味を持つものとなりました。

私の動物飼育歴は26年。「よみうりランド海水水族館」に勤務したことに始まります。その当時は多摩丘陵にもまだまだ自然が残っており、タヌキやノウサギと会うこともできるといった環境でした。しかし午後になると遠く都心の空にはもくもくとスモッグが湧きあがり、やがて筑波山から吹き下ろす風に黒い雲が流されて来るのが手に取るように見えまし

なぎごえ7月号もくじ

動物と私 2
カナダガンのヒナ誕生 3
サル類の繁殖 4-5
動物にことよせて 6-7
動物園グラフ・動物園日記 8-9
ケンちゃんの好きやねん動物園 10
動物園ニュース 11

た。私はその雲を見ながら、これでは多摩丘陵も数年先には薄汚れた空気になるだろうと不安を感じ、憤りさえ覚えました。

ちょうどその矢先に、7年前から計画のあった水族館が千葉県の鴨川に造られる話しを聞き、私は海辺に引越すことに決めました。そこは今でも列車から降りると潮の香が鼻をくすぐる、自然に恵まれた住みよい所です。

このように人間は海を埋立てたり、住みたい所に引っ越したり、いつでも自らの環境を変化させることができます。日常生活においても、飲水を薬品処理や脱臭装置などを使って浄化したり、部屋の空気ですえも空気清浄器やエアコンなどで調整することができます。

動物は飼育下はもちろん、自然界でも人間によって変化した環境の範囲内ではしか生活せざるを得ません。いうまでもなく、それは人間にとって都合の良いことを行った結果であり、動物への配慮はあまり感じられません。

現在私が勤務している「海遊館」では“ガイア仮説”と呼ばれる理論に基づいた展示をしています。これは「地球そのものが一つの生命体であり、人間はもとより動植物から細菌にいたるまで、地球上のあらゆる生物は環境を巧みに操る能力を備えた存在である。」というものです。私達は今、人間と動物とのあり方を振り返り、動物に対する優しい心とは何かを考える時が来ているのではないのでしょうか。

私は職場である水族館などで動物と係わる時、常に自分を動物に置き換えて自問自答するように心掛けています。そのためには、その動物に関する情報は多い方が望ましいことです。しかし、動物にとって満足のいくような回答はなかなかえられません。

あなたにとって動物に優しい心とはどんな心でしょうか？

(海遊館 飼育展示部長)

表紙の写真説明

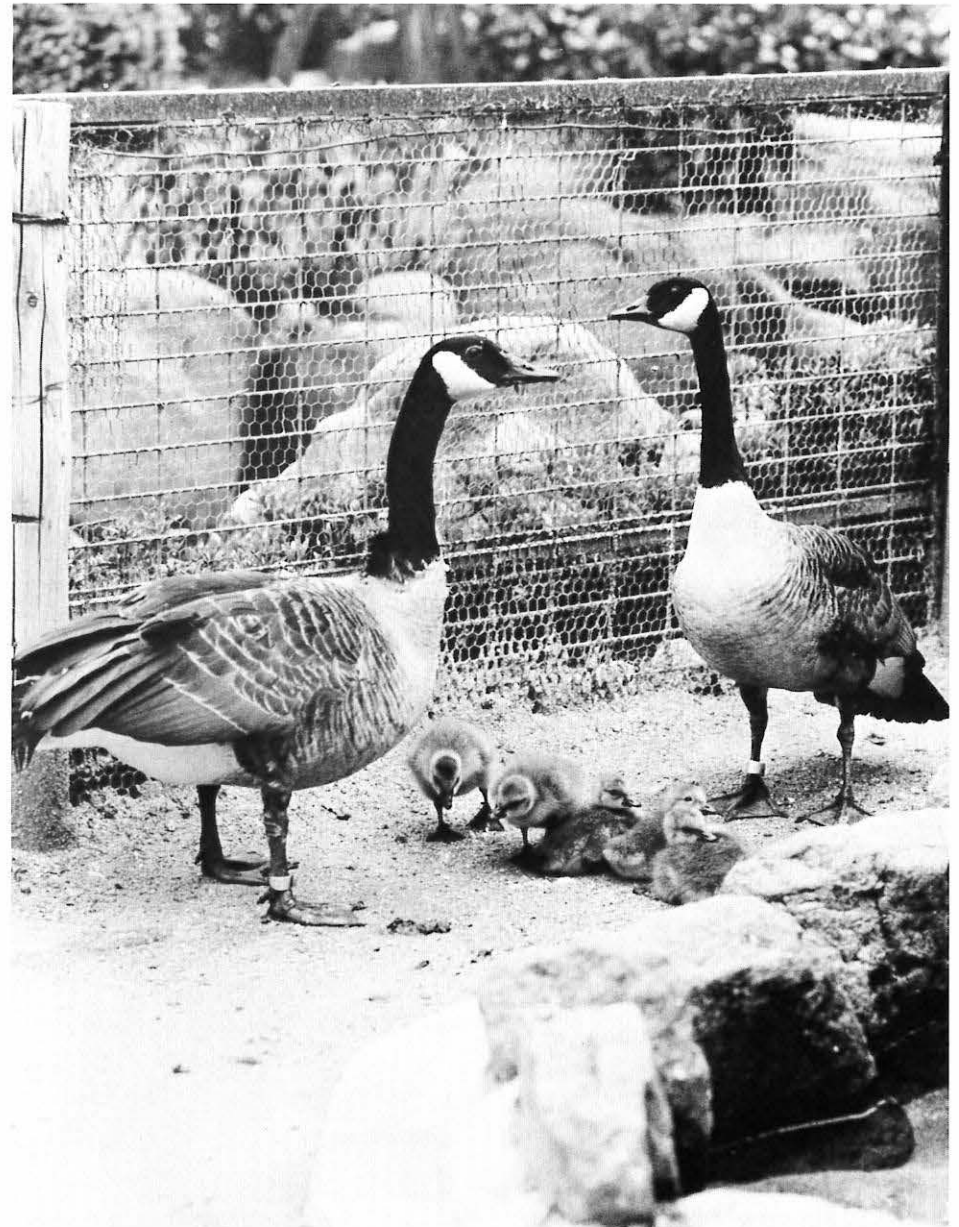
“ヒョウ”

(Panthera pardus)

アフリカ、インドからアジアと非常に広い分布域をもっています。

ヒョウは日本の古文書にも登場しますが、庶民が目にするのは江戸時代末期から。

(撮影：中川 哲男)



“カナダガンのヒナ誕生”

5月1日、5羽のヒナがふ化しました。両親は夫婦仲がとても良く、毎年可愛いヒナを上手に育てあげます。しかし、この期間中、周囲に近づくものがあれば体の大小にかかわらず強気で追い散らします。

(撮影：大川 光雄)

1991年の春は花冷えの日が長く続きました。園内が色とりどりの花につつまれ、新緑が目によさしい時候になったというのに花を散らす風は冬そのものでした。

桜前線が北に向い、ツツジが満開になりました。今年もその頃サル舎の前では真夏の花ヒマワリが大輪の花を咲かせています。でもこの花は年中けっして枯れることはありません。実はプラスチックでできている、当園の統一された赤ちゃん誕生のマークなのです。この黄色いヒマワリの花が咲いている動物舎にいけば、必ず赤ちゃんや鳥のヒナがみられるという訳なのです。



ブタオザルの親子

サル舎の前ではこのマークは一年中絶えることはありません。秋の祭りに季節はずれのヒマワリを咲かせる種類も少ないからです。

今回、ここで紹介するサル舎とはコアラ舎の向いにあるサル・ヒビ舎のことです。ブタオザル、シシオザル等オナガザル科の仲間、フクロテナガザル、フランソアルトン、マントヒビ、ドリル全部で13種類の大小のサルを飼育しています。

サル仲間には人気者ですし、その赤ちゃんや、育仔のようすは人間に似ていて、親しみがわき、入園の足をとめさせます。赤ちゃんは出産直後から、お母さんの胸にしがみつき、お腹がすけば目の前にオッパイがあるという状態です。(オマキザルは背中におんぶされていることが多い) 母親も子供をいつもかかえ抱き、大切に育てます。このような状況はほほえましく、見る者をけっしてあきさせません。来園者にとって、動物の赤ちゃんを見ることは動物園に訪ずれることの大きな楽しみです。この頃テレビの画面や新聞に盛んに各地の動物園等での赤ちゃん誕生のニュースが報道され、当園でもニュースが流れた翌日には早速たずねてくる人もいます。でも、

このように順調に育ち公開できるサル達ばかりではけっしてありません。不運なことに日の目をみることもなく消えてしまった赤ちゃんも何頭かはいるのです。私達は飼育動物が繁殖に成功することはうれしいことにちがいませんが、もう、なんでもかんでも生まれればよいという時代は終止符がうたれています。

今、動物園は「種の保存」ということが、大きな目標とされ、努力されつつあります。稀少動物を守るため、国際的な協力活動により繁殖プログラムが進行しています。この「種の保存」という大テーマを考える時、近親交配をさけるということが大前提となります。そのために国際血統登録が急がれ、調整の努力がされています。元々、稀少動物になってしまったものですから、調べてみると、どこかに血縁関係がみられるようです。この悪条件を調整し最もふさわしいペア結成を実現するまでにはグローバルな協力、理解が必要とされることはシシオザルの場合が象徴的に物語っているといえるでしょう。



カニクイザルの親子

当園のサル舎の場合、シシオザル以外には複数雄の繁殖群をもっていません。父親は1頭だけという訳けになります。その結果、繁殖が順調に続いている場合でも、遺伝子の拡散までにはいたりません。それどころか、簡単に近親交配がおこりますし、その危険性はすぐに訪ずれてしまいます。それでもまだ稀少動物として血統登録が義務づけられている種は、真剣に調整される可能性はあります。そうでない動物で、比較的繁殖率の高い種、たとえば、当園ではカニクイザル、ブタオザル、サバンナモンキー、もちろん稀少動物になることを望むわけはありませんが、新しい血(血統)が必要です。今の所サルの入園前後の保障は大きく望みません。さらに同じ種のサルでも、原産地によりいくつかの亜種やタイプが

あります。これらをも考慮し「種の保存」計画を実現させることは、どこまで可能でしょうか。動物園で増殖させた動物を再び野生下にもどすプロジェクトもあります。この場合、全く元の生息地にいたタイプと違う動物を作ってしまった場合、どのように考えるのか、どこまで許されるのかは、大きな課題です。

その種の亜種とされるもの、タイプの違うもの、これは長い長い時間が分化させたのと考えられます。その歴史的な時間を無神経にあつかうことは、動物園の良識が問われると思います。

動物園界あげての大プロジェクトを成功させるには倫理の確立も急務とされることでしょう。

次に当園の具体的な繁殖例について紹介してみましょう。今年度に入ってサル、ヒビ舎内の繁殖は6月上旬現在、3頭でマントヒビ、フサオマキザル、カニクイザルの3種です。この他、シシオザルの出産も6月中旬に予定されています。

まず、マントヒビですが4月20日にメスが1頭生まれました。母親は血液更新のため白浜アドベンチャーから入れた個体ですが、先妻(他にも1頭メス



繁殖の推進が叫ばれているシシオザル

いる)より順位が低いようで、たえず距離をおいておびえた様子がかげえまます。現実に彼女の子が父親に殺されることも多く、ストレスも重なるのか、前回の子は母親によって(母親自身もそうですが)過度にグルーミングされ脱毛しました。反対に先妻(先妻といっても父親から見れば孫にあたりますが)の方は子供も母親も共に父親とのコミュニケーションも良く、子供も順調に育っています。マントヒビはオスを中心にユニットを形成しますが、ユニットのメスの中にも順位制があるように思えます。

4月28日にフナオマキザルが出産しました。今まで父親に噛まれて死亡することが再三ありましたの

で、今回は妊娠末期に父親と隔離して出産を待ちました。無事出産してくれ、以後は甲斐々々しく子育てを行い順調に育っています。しかし、いずれ父親と同居しなければならないので、その時期や方法について今から最良の方法は何かと、考えあぐねています。カニクイザルの若妻「モモコ」が5月7日にオスの赤ちゃんを出産しました。初産です。最初の頃は子供の抱き方もぎこちなく心配しましたが、今では板について順調に育てています。このモモコは昨年の夏に他の個体が生んだ赤ちゃんを抱くといった子守り行動が見られ、これが今回の自分自身の出産養育に役立ったものと思われます。これらの子守り行動はチンパンジーのメスで知られていますが、当園ではカニクイザルの他、ブタオザルでも見られます。1昨年に生まれたメスの仔が昨年生まれのオスのを抱いている光景をよく見かけます。これは子守り行動のようにも見えますし、また別の意味ではお互いの不安や興奮を抱きあうことによって緩和しているようにも見えます。なにはともあれ、年上のサルが年下のサルを抱いたり、面倒みたりするのはおとなのサルの行動をみて、後々に経験するための学習を行っているものと考えられます。

次にシシオザルの繁殖ですが、当園は国内のシシオザルの種別調整者の役割を担っていますが、この種別調整者とは、日本の動物園水族館を統括する(社)日本動物園水族館協会の種保存委員会で35の希少種を定めこれの繁殖推進のために調整者をおいております。当園のシシオザルも調整によって米国から3頭を導入し、今月中にも5頭が日本に入ってくる。過去、枚方パークからブリーディングローンで借りたメスから2頭の出産に成功し、これらは各々熊本動物園ととべ動物園に貸出されます。シシオザルは日本での飼育園も少なくその飼育頭数も少数です。野生下では4000頭が確認されているものの稀少種に違いがなくワシントン条約第1表に指定されています。今月中に米国より導入する5頭を含め、日本での飼育繁殖頭数の増加に最大限の努力を払っていく予定です。

この他、本文が皆様の目にとまる頃にはもう1つの稀少種「ドリル」のオスがドイツ、シュツガルトのウイヘルマ動物園からブリーディングローンでやって来ます。当園とのメスとの間で繁殖を図る予定です。

(飼育課：大野 尊信、岡田 博之)

山口 耕道

人と話しをする時、まず伝えたい事柄を言葉で説明し、それでも足りない時は、身振り手振りを交え、何とか相手に伝わるようにと自然と体が動くものです。この事が演技の始まりであり、演劇の原点だと思ふのです。

これからお話しする『狂言』は、演劇の原点として、いま世界の演劇人から注目されています。と言うのも、殆んど狂言は2〜3人の少人数で演じ、通常は能舞台という何の舞台背景もない空間で演じます。従って、今は暗い夜なのか、明るい昼間なのか。暑いのか寒いのかといった状況の全てを、主に言葉(せりふ)で演者自身が表現します。当然、せりふの中に擬態語や擬声語が多く含まれています。例えば、倉の戸を開ける場合「ぐわら、ぐわらぐわら……」。家の戸を開ける時は「さらさらさら……」。といった具合です。狂言を初めて観た中学生が、漫画みたいと笑っていました。なるほど漫画のコマには吹き出しとは別に、効果音が文字で書いてあります。

演劇も時代の進歩とともに、照明や音響効果、大道具など、舞台背景を駆使して現在の演劇になるのですが、日本には700年もの間、変わらずに演じ続けられている演劇があることは面白い事です。西洋では置き去りにされてしまった演劇の形体が狂言なのです。ものごとに行き詰った時、まず考えつくのが原点に帰れ、という事で、狂言が演劇の原点として世界の演劇人から注目を集めている事は、日本文化健在なりといった感がして、狂言に携わる者の一人として愉快な事です。

狂言の中には幾つか動物の鳴き声を真似るものがあります。『二人大名』と云う狂言の中で、二人の



大名が鶏の蹴合うところと犬の噛み合う真似をさせられる場合があります。いつの頃からか、誰に教えられるでもなく、犬は「ワンワン」鶏は「コケコッコ」と鳴くものだと思ひ込んでおりますが、中世

では、犬は「びょうびょう」と吠えますし、鶏は「こうこう……、こきゃあろう」と鳴いています。言葉は生きていますから、変わってゆくのは当然の事として、いつの頃から「ワンワン」「コケコッコ」になったのか、などと考えるのも楽しい事です。また闘鶏や犬のけんかを中世の人達が面白がって取り囲んでいる状況なども浮かんで面白。『柿山伏』という狂言の中で、柿を盗み



食いしている山伏が畑主に見つかり、鳥、猿、鳶の鳴き真似をさせられた揚句、柿の木から落とされる場面があります。鳥は「こかあ、こかあ」猿は「きゃあ、きゃあ……」鳶は「びい、よろよろ……」とそれぞれ鳴いています。この狂言の中で興味深いのは、木から落とされた後の山伏のせりふです。

「やあら己れは憎い奴の。この尊い山伏を鳥類畜類に例うるのみならず、あまつさへ鳶じゃと言う。総じて山伏の果ては鳶になると言うによって、身共も早や鳶になったかと思うて飛う(ん)だれば、まだ産毛も生えぬ山伏をあの高い木の空から飛ばせ、腰の骨をしたたかに打たせおった(後略)」。これなどは、山伏としての修行を重ねれば、空をも飛べるようになるという山伏の神通力を信じていた頃の人々の、空を飛び廻ってみたいという憧れにも似た思ひが想像できて楽しい。

鳥の鳴き声を使った秀句(しゃれ)の面白い狂言があります。『竹生島参り』の一部分を紹介しておきましょう。太郎冠者が竹生島へ参詣した時の話を主人が聞き出す下りの部分です。

主人「さて、何ぞ珍らしい事はなかったか」
太郎「別に珍らしい事とはございませなんだが。いや申し、私は只今まで、雀と鳥は別の鳥かと存じておりましたれど、親子でござる」

主人「それは如何様な事じゃ」
太郎「さればその事とござる。まづ参ります道に大木がござった。片枝には雀がとまります。片枝には鳥がとまっておりますが、雀が鳥の側

へ参りまして、ちちちと申してござれば、鳥は雀をきくと見まして、こかあ、こかあと申してござる。すれば疑いもない親子でござる」

次は動物そのものに扮して登場する狂言を幾つか掲げてみます。『靉猿』『釣狐』『蟹山伏』『蚊相撲』



「靉猿」の舞台

撲』などがあります。これらはいづれも狂言面を使用します。猿や狐は面も写実的で、ぬいぐるみを着て演じますので、扮装や動きも写実的です。対して、



蚊の精



蟹の精

蟹と蚊は精霊という形で登場します。従って、扮装などに狂言としての知恵と工夫が感じられて、私の好きな狂言の一つです。『蟹山伏』は、山伏が沢を通りかかると、蟹の精が出てきて、行く手を妨げ、山伏の耳を挟むという話です。『蚊相撲』は、蚊の精が相撲取になり、大名に召し抱えられ、人間の血を吸おうとする話です。いづれもたわいのない話ですが、それを大仰にやるのが狂言らしいところでもあります。沢蟹をつかまえようとして、指を挟まれ「痛っ」と思った隙に逃げられ、くやしい思いをした事や、蚊に刺されて悩まされた思いが、この狂言を作らせたものでしょう。狂言を観ながら、自分の経験が重なり合って、思わず笑いがこぼれるものです。

実際に動物は登場しませんが、話の展開の中心になる狂言もあります。『蝸牛』という狂言は、かたつむりと山伏とを間違える話です。長寿の薬になる

ので、かたつむりを取って来いと言われた太郎冠者ですが、どのようなものか知らないで主人に聞きます。主人は「かたつむりというものは、頭が黒くて、腰に貝をつけ、折々は角を出すものじゃ」と教えます。山伏の姿は、頭に黒い兜巾をつけ、腰に法累貝を下げています。この狂言の面白さは発想のユニークさにあります。かたつむりはどこにでもいる虫ですが、柳田国男の『蝸牛考』にあるように、色々な呼び名があったようです。太郎冠者がかたつむりと聞いて、虫が思い浮かばないのも、その時代にはあり得た事だと想像が付きまします。この狂言の後半は、山伏に騙された太郎冠者が、山伏と一緒に囃し物に浮かれる展開になります。その囃し物の文句が面白く、「でんでん虫虫、でんでん虫虫。雨も風も吹かぬにでなかま打ち割ろ、でなかま打ち割ろ」と歌います。でなかまというのは、「出な(いと)殻」の意味だと思ひます。この文句は子供達の遊び唄だったと想像します。私も子供の頃に、でんでん虫の角をつつつきながら遊んだ記憶があります。この唄を聞くと、中世の子供達がでんでん虫をとり囲んで



「蟹山伏」の舞台

遊んでいる姿が浮かんできます。後に主人も加わって、三人で浮かれ舞います。観客には、ええ年したおっさんが、子供の遊び唄で浮かれている姿は、たまたま可笑しくもあり、また童心にかえって浮き浮きとした気分であったことでしょう。

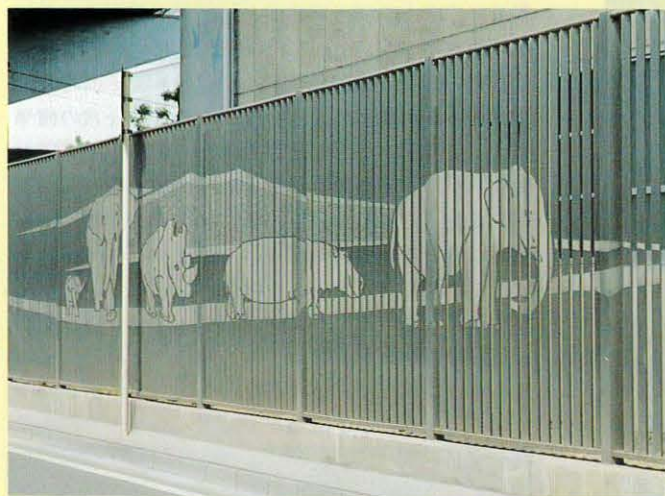
狂言はさしたる変遷もなく今日まで演じ続けられている芸能ですから、往時を探り想像するのも楽しいものです。しかし、中世に興った芸能が、今なお現代人の笑いという行為によって支えられている現実、言い方を変えれば、人の感情は昔も今も何んら変わっていないと言えます。表面は変わっても、生きるという行為の奥底では、人も自然も動物も、今も昔も同じであろうことを確認できる時は楽しい時です。変わってゆくことはうれしいものです。変わらないこともうれしいものです。

(申楽大和座、狂言師)

動物園グラフ

— 塀に描かれた動物達の面々 —

動物園の外柵といえば生垣や面格子、コンクリート柵ときまったものですが、当園では入園客を楽しく誘うためにステンレスの外柵に動物の動く姿をエッチングしたり、コンクリートの壁や床に陶板写真を埋込みました。(撮影：大川 光雄)



人気のゾウ、カバ、サイなど大型獣を集めてみました



キリンの親子
当園にもオスのリンタロウという可愛いキリンがいます



堂々としたオスのアシカとやさしげなメス



躍動するビッグキャット
トラ、ヒョウ、ピューマ

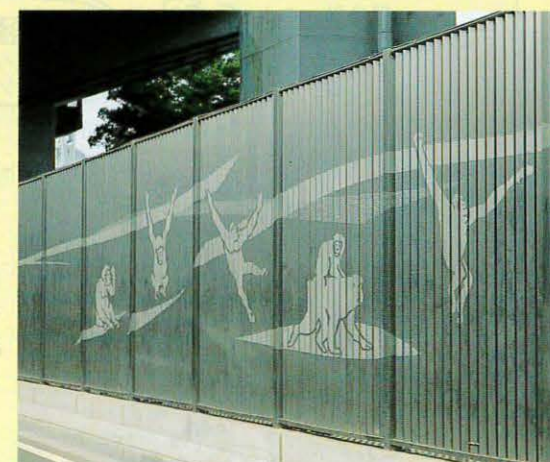
5月の動物園日記

- 5 / 1. キジの卵が5個保護されました。
- 5 / 4. アカハシハジロが4羽孵化しました。
チンパンジーに殻付きのマカデミアナッツを与え道具を使って割る訓練を始めました。
- 5 / 5. アカハシハジロが5羽孵化しました。
- 5 / 6. 春の動物と花のフェスティバルが終了しました。
- 5 / 7. カニクイザルの雄が1頭生まれました。
ハクビシンの出産準備のため、雄と子供を予備室に隔離しました。
アミメキリン昨年と今年生まれの母子と雄

- 親のあわせて5頭を初めて同居させました。
- 5 / 9. アカハシハジロが3羽孵化しました。
孵卵器のダチョウの卵を検卵したところ1卵が有精卵でした。
- 5 / 10. アカハシハジロが2羽孵化しました。
- 5 / 11. 今年初めてシュバシコウの雛を2羽確認しました。
- 5 / 12. イワトビペンギンが1羽孵化しました。
- 5 / 13. ニホンザルが1頭生まれました。
コジャコウネコの雄を出産準備のため予備室に隔離しました。
- 5 / 14. シュバシコウの雛を1羽確認しました。
カナダガンが3羽人工孵化しました。



闊歩するライオンの親子



ブラキエーションをするオランウータン
特徴をよく掘んでいます



ゲート前広場の陶板。
古代の壁画や埴輪を見ていただけます。



床の陶板写真は人気動物のパレード
足跡クイズもあります。

- ニホンザルが1頭生まれました。
ジャガーの子供の展示を始めました。
- 5 / 15. ニホンザルが1頭生まれました。
- 5 / 16. ハクビシンが生まれました。
残念なことにイワトビペンギンの雛(5/12孵化)が死亡しました。
- 5 / 19. シュバシコウの雛を1羽確認しました。
動物のお話とスライドの会で「キリンウォッチング」を行いました。
- 5 / 20. セイランが1羽孵化しました。
- 5 / 22. オシドリが6羽孵化しました。
- 5 / 23. シュバシコウの雛を1羽確認しました。
ニホンザルが1頭生まれました。

- 今年初めてニホンジカ(雄)が1頭生まれました。
- 5 / 24. オシドリが1羽孵化しました。
ウミネコが1羽孵化しました。
- 5 / 25. ヒョウが1頭生まれました。
- 5 / 26. アカハシハジロが1羽孵化しました。
- 5 / 27. ニホンザルが1頭生まれました。
- 5 / 29. エランドが1頭生まれました。
- 5 / 30. ニホンジカ(雌)が1頭生まれました。
- 5 / 31. ヤマネ(12/12保護)を野生へ帰すため岐阜県教育委員会に引き渡しました。

ケンちゃんの好きな動物園 マンガ 松葉 健

午前10時ごろ夜行性動物舎へキーウを見にいきました。ちょうどエサをつくらしているとこでした。

《キーウ》の巻



キーウはニュージーランドの国鳥です



飼育係の松村さん



① 牛の心臓をミズ状にきざむ。熱湯(水とサラダ油)をオートミールゼトローとやわらかくして少し冷えてからミズ状と混ぜる。栄養剤も加えて...

② 給食のパンと同じものを中の白いところだけ糸でくきって、干しぶどうを上にパラパラ...



ほんといつもキーウのエサは生きたミズだけ。10日に一度やる土の中にもぐって食べやすいようになるんだ

室温は20°ぐらい

午前10時半ごろエサをやるためドアを開けるといた!いた!キーウが。

こちらは20年いるニュージー(オス)。そして左側の展示室には、ロンロン(オス)がいる。

動物病院の横にあるキーウ舎は昼と夜は自然のままなので昼の巣箱の中ではよく寝ていた。

部屋の中はうす暗い

夜行性だから展示室は昼は暗く夜は明るくなるように照明がうまくできているんだよ

巣箱

キーウは世界の17か国の動物園にいてね。日本では天王寺動物園だけ。(現在4羽いる) オスばかりなのでメスがほしいよ

キーウのいる室の土はジメジメしているからよくみるとミズがにじみ出ているよ! 湿地帯に住む鳥だから湿度は70%~80%にするそうです。

寿命は20数年か?

目はあまりよくない

角虫毛

体重の1/4ぐらいの卵を産む

足は力強く大きい



動物園ニュース

ベビーラッシュ続く

サルハウスでは、カニクイザルの「モモコ」が初めて出産、オスの赤ちゃんでした。これで、6頭の群れとなりました。バーバリーシープでは、4月で出産は終了したかと思われましたが、5月9日に1頭の赤ちゃんが生まれました。ニホンザル舎では、4月に2頭が生まれていましたが、5月には5頭生まれ、計7頭の赤ちゃんが順調に育っています。鳥の楽園では、シュバシコウのヒナ2羽が5月11日に確認されたのを皮切り、計4葉6羽のシュバシコウのヒナが5月末までに確認されました。



子供をやさしく胸に抱くモモコ(左)と順調に育つシュバシコウのヒナ

野鳥展開催

愛鳥週間(5月10~5月16日)にちなみ、「野鳥展」を新世界ゲートの展示室にて5月10日から22日間にわたり開催しました。これは、来園者の皆さんに、野鳥に関する知識と理解を深めていただき、野鳥の保護と愛鳥思想の普及高揚を図るため、毎年、大阪府と共催で開催しているものです。展示内容は野鳥の写真パネル、当園の野鳥観察記録、平成3年愛鳥週間ポスターとしての入選作6点ほか80点を3つのパートに分けて展示しました。

メルボルン市長がコアラと対面

去る5月9日、メルボルン市長ご夫妻、同市国際交流課長キャシー・マーテル女史来園され園内を見学されました。コアラ館では、同市からいただいたコアラと対面され、りっぱな設備の中で手厚く飼育管理され



コアラ舎前で。左からキャシー・マーテルメルボルン市長、マーテル市長夫人、中山所長。

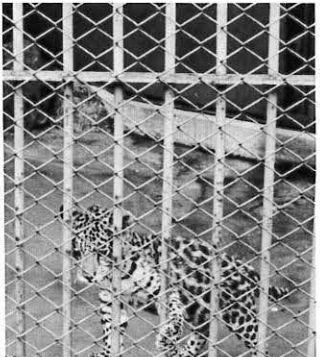
現在の飼育動物数

| | | | |
|---------------|-----|------|-------|
| (平成3年5月31日現在) | | | |
| 哺乳類 | 12目 | 93種 | 419点 |
| 鳥類 | 20目 | 177種 | 756点 |
| 爬虫類 | 3目 | 31種 | 69点 |
| 合計 | 35目 | 301種 | 1244点 |

ていること、コアラ館自体が、オーストラリア大陸を模して建てられていることなどを聞いてとても感激されておられました。まだコアラの赤ちゃんが誕生していないことをお聞きになり、今後の繁殖に期待を述べられていました。

ジャガーの赤ちゃんを一般公開

今年2月12日誕生したジャガーのメスの赤ちゃんは、母親が哺乳しないため飼育係員が育ててきましたが、一時は下痢など続き、成長がやや遅れましたが、治療のかいあって健康も回復し、離乳ならびに伝染病予防のワクチン接種も終了したため、5月14日からサイ舎横の小獣舎の一角で一般公開しています。



生後3ヶ月となってますます元気。

ヒツジの毛刈り

毎年恒例のヒツジの毛刈りが、6月1日朝、ヒツジ舎で行なわれました。いつもは、毛刈りバサミによって刈られる当園のヒツジたちですが、今年は五月山公園からお借りした電動バリカンも用いて刈ってみました。刈られた成獣6頭のヒツジたち、これから暑い夏を迎えるにあたり、もうすっかりその準備ができました。



電気バリカンでの毛刈り。

お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
 - 7月21日(日) 保護動物のお話
 - 8月18日(日) *カバのガイド
 - 時間: 午後1時~2時
 - 場所: レクチャールーム *カバ舎前
- テレフォンサービス実施中
 - 催し物、トピックスなど魅力たっぷりの動物園の案内を、24時間テレフォンサービスで行っていますので、ぜひご利用ください。
 - 電話番号 771-9999

休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎週月曜日(休日の場合は翌日)です。開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時まで入園できます。

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間はず？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしといかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むし くらしと いかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしと いかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。

☆ 光のくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

室内装飾設計施工・バラエティ雑貨卸

1st ファースト商会

〒559 大阪市住之江区平林南1丁目2番57号
ヘッドビル202号
TEL 06-686-4033 FAX 06-686-4032

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死
を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る
写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・千不要

《感動の言葉》

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。(英文学者)
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。(動物研究家)
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。(動物愛護家)

●本書は、書店ではお買い
求めになれません。
直接当会へお申し込みく
ださい。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキで
お申込下さい。

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

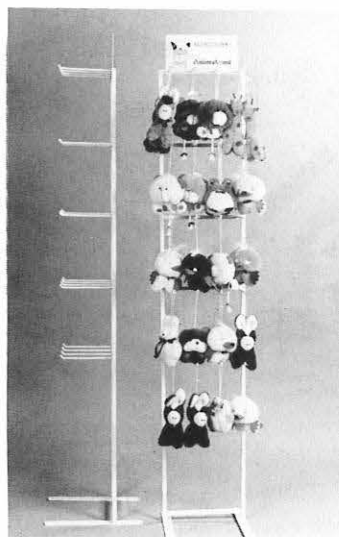


コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

オールカラー

500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

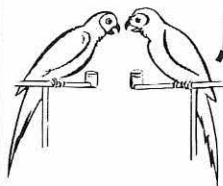


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

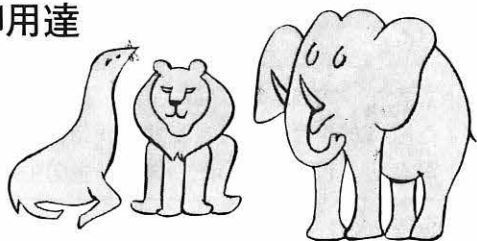
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

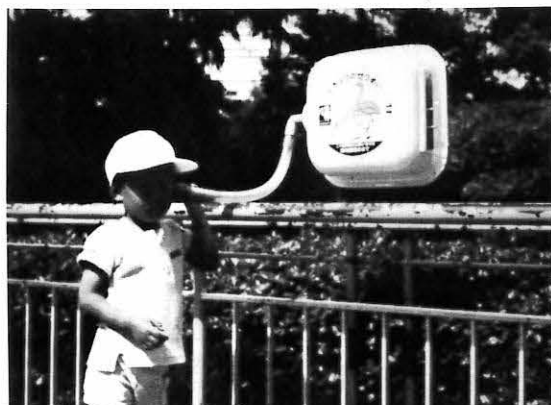


有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、ご休憩は

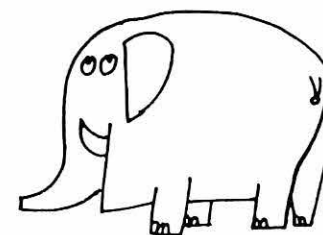
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



南園売店

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444



雪印乳業

唯ちゃんも、
とってもゼリーも、
ますます成長しました。



浅香 唯

フルーツゼリー とっともゼリー



とっともオレンジ



とっともピーチ



とっともキウイフルーツ



とっともグレープフルーツ



とっともアップル



とっともパイナップル

一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1991年7月10日発行(毎月10日発行)第27巻 第7号 (通巻311号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 橋本一郎

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共) 振替口座 大阪3-3 7 8 2 3

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 7 7 1 - 0 2 0 1

編集委員 (中山良三郎/村上 昭/中尾啓一/樽本 勲/中川哲男/吉本昌俊/山根和弘/大谷直樹/宮下 実/長瀬健二郎/榎原安昭)
森本委利/竹田正人/永田健一/大野尊信/野口秀高/早川 篤/赤松 健/中垣圭史/大川光雄/土谷正道/